

資料①

令和 7 年 10 月吉日

議案

- ① 令和 6 年度決算報告について
- ② 同窓会の今後の方針についての 3 つのご提案（ア）、（イ）、（ウ）

昨年度総会で議題となった「名簿発行の継続の是非」、および、それに伴う会の今後の運営について、今回の総会に先んじて 3 つのご提案をさせていただきます。これらについての検討が必要となった共通のきっかけは資金、労力のことです。課題の重大性から、悲観的な検討方向になりかねない問題でした。しかしながら、この局面を方針転換の契機とし、新たな同窓会像を模索することに繋がるきっかけともなりました。

以下、資金不足に至った原因と、3 つの課題についての新たなご提案をお読みいただき、是非をご検討いただければ幸いです。

資金不足の原因

①添付の会計報告の通り、昨年の 70 周年記念行事の経費がかかりました。またポップスコンサートにおいては、奏楽堂を借りることを始めとして、様々な経費を大学に支出していただいた代わりに、収入の 8 割を大学（芸高）に寄付する契約（芸大と芸高同窓会の契約）となっていましたことで、最終的に同窓会の残金は少なくなりました。

②現在卒業時に、同窓会入会の意思がある卒業生が 15,000 円を納めています。毎年約 35 名の入会として 525,000 円が毎年の収入です。それに対して、名簿の管理を委託している（株）サラトさんへの、年間契約料が 66,000 円、同窓会総会案内の郵送代約 300,000 円などが経費を圧迫していました。

同窓会継続方針として、新たな提案

（ア） 総会案内等のメールへの完全移行について

上記の理由から、今後の連絡手段をメールに完全移行いたしました。ご理解を賜れましたら幸いです。メールも万能ではないことは承知しておりますが、費用の削減のほか、会員の皆様の返信に係る手数の軽減、送付までの業者との打ち合わせが無くなることによる準備の簡易化が見込まれます。

（イ） 会員名簿発刊の廃止および芸高内での卒業生情報の管理への移行について

前回総会にて、名簿発刊をもう 1 度実施する方向となっておりましたが、資金不足により発刊が不可能となりました。さらには、情報が変わった方々の追跡を行うことが現状では難しく、名簿を新たに発刊する必要性自体が問われる状況です。そこで、現在契約を結んでいる（株）サラトとの契約を解除し（データを買い取ることになります）、芸高の卒業時に、彼らの連絡先情報を在職教員が情報収集する管理方法に切り替えたいと思います。

（ウ） 周年事業の新しい在り方について

これまで 10 年ごとに周年事業として卒業生演奏会を行ってきましたが、2500 名を超える卒業生から出来るだけ満遍なく、たくさんの人に出演していただこうとすると、演奏会の規模を大きくせざるを得ず、準備運営も膨大なものになっていきました。次の 80 周年を同様に実施することは難しい想像される中、今後は若い卒業生を対象に開催する同窓会演奏会を支援する活動にシフトしていくことが提案されました。若い同窓生の演奏の機会を支援すること、若い才能を紹介することは、同窓会の最も大切な役目ですし、こうした活動の積み重ねが、内外関わらず芸高同窓会の活動が注視され続けることに繋がるのではないかと考えた次第です。